

柳貞子を偲ぶ会

2018年6月10日、月島スペインクラブ（東京都中央区）にて「柳貞子を偲ぶ会」を開催し、約80名がご参加くださいました。雨の中お越しくくださった皆さま、および開催に当たりご協力くださったすべての皆さまに心より御礼申し上げます。

当日の様子を、写真を中心にをご紹介します。



雨の中、たくさんの方々がお越しくございました。（写真提供：渡邊昭夫氏）



遺影のそばには、本人が好きだった真紅のバラと、日本とスペインの友好を示す国旗、愛用したセンスが飾られました。



ポルトガルのカジノ・エストリルでファドを歌った際の写真（左奥）など、柳貞子を偲ぶ写真の数々が会場に飾られました。



スペイン国王より長年の功績を称えられて贈られた表彰状（左奥）、勲章（左手前）と、ヘルシンキ大学合唱団からの哀悼メッセージカード。



長年、柳貞子の舞台上で伴奏を務めてくださったギタリスト柴田杏里さまより献杯のご挨拶



音楽評論家の浜田滋郎先生よりご挨拶をいただきました。柳貞子を、スペイン音楽を日本に広めるための掛け替えのない「戦友」と呼んでくださり、その音楽性、人間性について、エピソードを交えて語っていただきました。



旧制武蔵高等学校の同窓生・鈴木當子さまよりは、歌が好きだった高校時代の仲間同士の楽しい思い出をお話しいただきました。



長年ご近所同士で親しかった安部隆子さまは、柳貞子と付き合いを始めるようになったきっかけや、安部さまが引っ越された後もずっと交流が続いていたことなどをお話しくださいました。



柳貞子のお弟子さんの代表として登壇された田中洋子さまは、コンサートの裏方などを務めるなどして約30年支えてくださいました。「NHK ラジオ深夜便」に柳貞子が出演した際の音声も田中さまが録音され大事に保管してくださっており、この偲ぶ会でも参加者の皆さまに番組の一部をご紹介させていただきました。



ハリウッド株式会社代表取締役・牛山大輔氏は、お仕事の合間を縫って駆けつけてくださいました。美容家メイ牛山さまのお孫さまにあたる大輔氏は、柳貞子が長年親しくさせていただいたメイ牛山さまと柳貞子とのエピソードをお話してくださいました。大輔氏が手にするお写真は、メイ牛山さまのお誕生パーティに柳貞子が招かれたときのショット。



柳貞子がスペインにいた際大変お世話になったドミンゴ・ソリアーノご一家より、ビデオメッセージが届きました。写っているのはドミンゴ氏の孫のベアトリスさま。



偲ぶ会の後半は、柳貞子とゆかりのあるギタリストの皆さまが素晴らしい演奏を披露してくださいました。写真はギタリスト柴田杏里氏。カーネーション（スペイン語でクラベリートス）とバッハのシャコンヌを演奏してくださいました。



マリオネットの湯浅隆氏（左）と吉田剛士氏は大阪から駆けつけてくださり、ファドの「暗いはしけ」とオリジナル曲「光の中で」を演奏してくださいました。



長年柳貞子のクリスマスコンサートなどで伴奏を務めてくださったギタリスト武井裕晃氏は、ソロで「宵待ち草」を演奏してくださいました。



武井氏（左）と柴田氏のお二人で、柳貞子が好んで歌った曲の数々を連弾で演奏してくださいました。



リュート奏者のつのだたかし氏によるビクトル・ハラ「アマンダの思い出」の弾き語り。
（写真ご提供：渡邊昭夫氏）



つのだ氏（左）のウードと柴田氏の二重奏。柳貞子と演奏したセファルディ（スペインを追われたユダヤ人）の歌をメドレーで演奏してくださいました。



ご自身のスペイン留学時代に柳貞子と親交があったギタリスト荘村清志氏は、柳がよく歌ったカタルーニャ地方のクリスマス民謡「聖母の御子」と「アルハンブラ宮殿の思い出」を演奏してくださいました。



フラメンコギタリスト鈴木英夫氏は、仕事場から会場へ駆けつけてくださいました。柳貞子を偲び、情熱的なフラメンコの曲を弾いてくださいました。トリを飾るのにふさわしい演奏でした。



最後に喪主・館野美久より、ご参加くださった皆さまへ御礼申し上げて閉会となりました。
(写真ご提供：渡邊昭夫氏)



お土産には、生前に柳貞子が企画していた CD2 枚組みの BOX の製作を家族が引き継ぎ、完成したものをお持ち帰りいただきました。

終わりに：

「柳貞子を偲ぶ会」開催にあたり、スペインクラブ会長の松井宏祐氏および月島スペインクラブの皆さまにご協力をいただきました。また、ギタリストの皆さまにはお仕事がお忙しい中この日のためにスケジュールを調整していただきました。

柳貞子の CDBOX 製作に際しては、グラフィック・デザイナー西本稔氏と株式会社富士レコード社の園田恭弘氏に大変お世話になりました。

家族一同